



発行  
**県議会議員 扶川 敦**  
 徳島県板野郡 板野町犬伏字 大坪 78-1  
 TEL 672-5875  
 2011年 3月28日付

日本共産党中央委員会でも、東日本大震災救援募金を受付中

【郵便振替口座】

00170-7-98422

【口座名義】

日本共産党中央委員会

振替用紙の通信欄に、「地震救援募金」であることを明記してください。

# 原発「安全神話」から脱却を

## 東日本大震災を受け、愛媛県の伊方原発問題で 3/23 四国電力本社へ、緊急に申し入れました



3月23日四国電力本社・右端が扶川

3月11日に発生した東日本大震災と福島第一原発の事故を受け、3月23日、四国各県の日本共産党関係者が、高松の四国電力本社に申し入れ、徳島から私に参加しました。

### 【私達の質問】

① 東京電力福島第一原発と伊方原発との違い

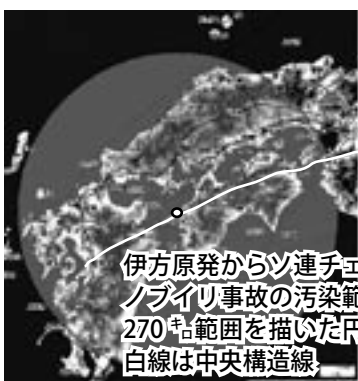
- ② 原発事故対応マニュアルの見直しが必要ではないか？
  - ③ 放射線測定ロボット導入の考えは？
- 【四電の回答】
- ① これまで電源車の配備、海水ポンプモーターの予備品手配などを実施した。
  - ② 今後▼電源確保対策▼▼冷却水確保対策▼▼浸水対策について早期に検討していく。
  - ③ 詳細な回答は、福島等の事故の検証後、改めてお会いして説明したい。

### 原発「安全神話」から脱却し自然エネルギーへの転換を

- ④ 原発の安全神話が崩壊したなか、持続可能な自然エネルギーへの転換の方針は？
- 私達は、①甘い耐震基準の見直し②老朽化している一号炉の廃炉③3号炉で実施しているプルサーマルの中止④自然エネルギーへの転換を要請。私は、「安

全神話は捨て、事故への備えの重要性を、今後徳島県を含め行政に情報発信してほしい」と求めました。

※四国電力伊方原発は、大断層中央構造線の真上にあります。和歌山県白浜町への関電の原発計画も、共産党等が反対運動を展開しており、私も、建設阻止へがんばります。



伊方原発から270km圏内を汚染する恐れがある。白線は中央構造線